

国際芸術祭「あいち」組織委員会 運営会議

次 第

日時：2023年10月18日（水）

午後2時から

場所：国際芸術祭「あいち」

組織委員会事務局内

1 開 会

2 議 事

議決事項

第1号議案 国際芸術祭「あいち2025」の会期について

第2号議案 国際芸術祭「あいち2025」の主な会場について

3 閉会

<配付資料>

資料1：国際芸術祭「あいち2025」の会期について

資料2：国際芸術祭「あいち2025」の主な会場について

資料3：国際芸術祭「あいち2025」の主な会場 参考資料

第 1 号議案

国際芸術祭「あいち 2025」の会期について

国際芸術祭「あいち 2025」の会期を、2025 年 9 月 13 日（土）から 11 月 30 日（日）までの 79 日間とする。

2023 年 10 月 18 日提出

国際芸術祭「あいち」組織委員会
会長 大 林 剛 郎

（説明）

この案を提出するのは、2025 年度に開催する国際芸術祭「あいち 2025」の会期を定めるため、国際芸術祭「あいち」組織委員会規約第 10 条第 4 項第 4 号に基づき、運営会議において議決する必要があるからである。

第 2 号議案

国際芸術祭「あいち 2025」の主な会場について

国際芸術祭「あいち 2025」の主な会場を、愛知芸術文化センター、愛知県陶磁美術館、瀬戸市のまちなかとする。

2023 年 10 月 18 日提出

国際芸術祭「あいち」組織委員会
会長 大 林 剛 郎

(説明)

この案を提出するのは、2025 年度に開催する国際芸術祭「あいち 2025」の主な会場を定めるため、国際芸術祭「あいち」組織委員会規約第 10 条第 4 項第 4 号に基づき、運営会議において議決する必要があるからである。

主な会場

愛知芸術文化センター

Aichi Arts Center

国内外の20世紀美術を中心に充実した作品を所蔵する「愛知県美術館」、大ホール、コンサートホール、小ホールなどを有する「愛知県芸術劇場」、アートスペース、アートライブラリー、アートプラザで構成される「愛知県文化情報センター」からなる複合文化施設。

愛知県の文化芸術の拠点として、名古屋市の中心部に1992年開館。



愛知県陶磁美術館

Aichi Prefectural Ceramic Museum

日本を代表する窯業地・瀬戸に「愛知県陶磁資料館」として1978年開館。2013年に名称変更し、「愛知県陶磁美術館」として新たなスタートを切った。

緑あふれる広大な敷地内に、充実した2つの展示施設「本館」「南館」、作陶体験施設「陶芸館」、古窯跡を公開する「古窯館」などがあり、様々な角度からやきものにアプローチするやきもの専門ミュージアム。

2025年4月、改修工事を経てリニューアルオープン予定。



瀬戸市

Seto City

名古屋市中心部から北東約20kmに位置し、周囲を小高い山々に囲まれ、千年以上のやきもの歴史を有する人口約13万人の市。

良質で豊富な陶土に恵まれたこの地で、先人たちは新しい技術や文化を柔軟に取り入れ、陶都として発展させたことから、やきもの代名詞「せともの（瀬戸物）」の語源ともなった。

2017年には日本六古窯（瀬戸・常滑・越前・信楽・丹波・備前）として日本遺産に認定され、現在でも、多くの陶芸作家やツクリテが市内の窯元や工房などで、日々新たな作品を生み出す。窯道具で組まれた窯垣や陶器でできた橋の欄干など、やきものまちならではの風情が随所に見られる。

